

作文の部（敬称略）

最優秀賞	米家 ひなた	呉市立呉中央中学校	2年
優秀賞	坂井 亮太	呉市立川尻中学校	3年
優秀賞	山田 塔子	東広島市立松賀中学校	3年
優秀賞	内田 天	広島市立中広中学校	1年
優秀賞	正木 心葉	大竹市立小方中学校	2年
佳作	坂本 風夏	東広島市立松賀中学校	2年
佳作	久保 百香	東広島市立八本松中学校	1年
佳作	藤田 琳子	福山市立神辺中学校	3年
佳作	島田 志乃	福山市立神辺中学校	3年
佳作	園邊 夢	大竹市立玖波中学校	2年

作文の部（最優秀）

不注意から始まった出来事

呉市立呉中央中学校 2年 ^{こめいえ}米家 ひなた

「あれ？私の自転車が無い。歩いて来たのかな？」

塾の帰り、いつも定位置に置いているはずの私の自転車が見当たらない。私は今日は歩いて塾に来たのだと思い、家に歩いて帰った。家の自転車置き場を見ると私の自転車はやっぱり無い。

「家にも無い。誰かが間違えて乗って帰ったのかな。そのうち見つかるよね。」

私は呑気に構えていた。

次の日、塾の自転車置き場に行ったけど自転車はない。

「やばい。もしかして盗まれた？そういえば鍵を付けっぱなしだった。」

自転車が盗まれた可能性に気づいた私はパニック状態に陥った。すぐに見つかるという期待をしつつも、自転車を盗まれたかもという思いが現実味を帯びてきた。これは母に伝えなければ。

「自転車を盗まれたかもしれない。」

予想通り、母は激怒した。私が鍵をかけ忘れたことに対して。私が鍵をかけ忘れたのには理由がある。私は盗まれた自転車を買う前、何年も小学校低学年の女の子向けデザインの自転車を使っていた。つまり、盗まれるような自転車ではなかったので、鍵をかけるという習慣がなかった。新しい自転車になってからは鍵をかけるように気をつけていたが、この日はうっかり鍵をかけ忘れていた。前の自転車の時の悪いクセが残っていたのだろう。買ったばかりの自転車。大失敗だった。

次の日、私は母と警察署に行った。個室に通されて、盗まれた日時、場所、置いていた自転車の向きなど詳しい説明を求められた。私はそのときそのときのことを思い出しながら説明していった。私たち家族は、自転車はメルカリなどで売り捌かれているのではないかと考えていたが、警察官には、自転車は個人で使用している可能性が高い、と言われた。個人で使用しているならばもう見つからないのではないかと私は落胆した。母には周りをよく見て自転車がないか探せと言われたけどそう簡単に見つかる訳ないだろう。また、物を大事にしない子には二度と自転車は買わないと怒られた。私は自分で自転車を買えるようになるまでずっと歩くことを覚悟した。そんな時だ。

私が家でスマホをつついていてる時、母から電話がかかってきた。何だろうと思いながら電話を取る。

「自転車、ケンタッキーの前で見つけたよ！念のため、自転車防犯登録カードと自転車の予備の鍵を持ってきて！」

私はびっくりした。ケンタッキーは自転車を盗られた場所にすごく近い。私はにわかには信じられない気持ちで高ぶる気持ちを落ちつかせて、家を飛び出した。

自転車があるところにつくと、私の自転車はポツンと一台だけ不自然なところに置いてあり、しかも施錠されてあった。警察官に、もし自転車を見つけたら触らずに電話してください、と言われていたため、警察官を呼んだ。警察官が到着すると誰が何時に見つけたのか、など質問された。私は指紋を取ったりして犯人を調べるのだと思っていたけど、そんなことはしないらしい。自転車を今日持って帰っていい、と言われてたので私たちはそうすることにした。私が、誰が触ったかも分からない自転車を持って帰るのは気持ち悪いと思っていると、警察官が消毒液とウエットティッシュを貸してくれ、しっかりと消毒した。自転車が見つかり安心したけど、まだ犯人は自転車の鍵を一つ持っているし、自転車はちょっと歪んでいる。さらに、自転車に座ってみるとサドルが一番低い設定に変わっていることに気づいた。再び自転車を盗んだ犯人に対するムカムカとした気持ちが浮かんできたけど、それよりも自転車が戻って来てくれたことが嬉しい。自転車を見つけてくれた母の執念に感謝だ。

今回のことを機に、自転車の鍵を替えるか、チェーンを付けるか父たちと考えた。しかし、鍵を替えるのは結構お金がかかるため、チェーンを付ける方を選んだ。これから買いに行く予定だ。

警察官は、あなたが悪いのではなくて自転車を盗む人が悪いと言ってくれた。しかし、私は自分の身は自分で守らなければならないと強く反省した。鍵をかけなかったことが、犯罪を助長させてしまったのだ。私はもう二度と鍵をかけ忘れない。